



～検診は定期的～

大腸がん検診を受けましょう

■問い合わせ いきいき健康課Tel 23-3220

大腸がんは、長さ約2mの大腸（結腸・直腸・肛門）に発生するがんです。粘膜の表面から発生し、大腸の壁に次第に深く進入していき、進行するにつれてリンパ節や肝臓や肺など別の臓器に転移します。

通常、早期の大腸がんでは自覚症状がありません。できた部位やどの程度のがんかによって異なりますが、進行すると血便、下血、下痢と便秘の繰り返し、便が細い、便が残る感じ、おなかが張る、腹痛、貧血、原因不明の体重減少などの症状が見られます。

大腸がん患者数 増加傾向

- ・かかる人は40歳代から増え始め、高齢者ほどなりやすい
- ・安来市壮年期（40歳～64歳）の大腸がんによる死亡率は、男女ともに国、県より高く増加傾向にある

早期に発見できれば完治できる可能性の高いがんです

大腸がんは早期の段階で発見できれば高い確率で治せる病気ですが、早期の段階では症状を自覚することがほとんどないため、発見が遅れると病状が進行して治療が難しくなります。「何も症状がないから大丈夫」と考えるのではなく、自覚症状がないうちにこそ、毎年大腸がん検診を受けて早期発見につなげましょう。

検査方法は自宅できる簡単な検便です

「便潜血検査」、いわゆる検便です。便に潜む血液の有無を調べます。大腸がんやポリープなどがあると、便の中に血液が混じることがあります。この検査は、便に付着した目には見えない微量な血液でも調べることができます。自宅で採便でき、検査前の食事制限もない簡単な検査です。通常、2日間に分けて便を検査容器に採取して提出します。

安来市が行っている大腸がん検診

対象 40歳以上（1年に1回）

料金 500円

検査内容

便潜血検査



検診方法は2通りあります

都合に合わせて 個別検診

医療機関で大腸がん検診を受診します。

検診期間 6月1日～平成30年2月28日

検診方法 医療機関で採便容器を受け取り、採便後医療機関に提出してください。各医療機関へ直接お申込みください。

近くで簡単に 集団検診

検診車が交流センターなどに訪れ、他のがん検診に合わせて受診します。

検診期間 6月7日～平成30年1月26日

提出方法 6月～10月・・・事前に採便容器を受け取り、集団がん検診の会場に持参します。11月～1月・・・集団がん検診の会場等で採便容器を受け取り、採便後、郵送します。